

村上 松平 議員



一括質問方式

- ① 肱川の治水対策
- ② 森林整備計画
- ③ ストリートピアノ

肱川の治水対策について

問 本市では、まずは外水を防ぐことが最優先であるが、内水への備えも非常に重要なことである。

内水対策について、国、県とどのような連携、役割分担をして進めていくのか。また、どのようなスケジュールで進めていくのか。

答 激特事業により短期集中的に堤防が整備され、内水対策が必要となる箇所の増加が見込まれるため、新たな肱川減災対策計画を策定する必要があると考えており、新年

度予算に所要の経費を計上したところです。

今年度から国、県、市で構成する肱川緊急治水対策推進プロジェクトチーム会議で、過去に発生した内水被害箇所や、堤防整備により内水被害が想定される箇所などの情報共有を図り、新たな計画の策定に向けた検討を行っています。

策定を進めるに当たり、まずは肱川減災対策連絡会(仮称)を立ち上げ、内水の浸水被害軽減に向けた対策案を国、県に積極的に示し、役割分担を協議し、激特事業の中間年度となる令和3年度中には新たな肱川減災対策計画を策定したいと考えています。

その後、計画に基づき内水対策事業を進めたいと考えていますが、全てを一度に行うことは財政状況から困難ですので、浸水状況などを勘案しながら、年次計画を立て内水による被害の軽減を効果的に図ってきたいと考えています。

森林整備計画について

問 森林には、至るところに法定外水路が張りめぐらされている。

川幅はそれほど広くないが、土砂が堆積すれば、それが原因で災害を引き起こすことも考えられる。総務省が財政支援してくれる土砂撤去の補助を利用し、森林整備と同時に災害防止へ取り組みもしていただきたいと思うがどうか。

答

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律では、森林整備や担い手の確保など森林環境譲与税の使途が明記され、国の補助制度の上乗せができないなどの制約もあり、譲与税で法定外の水路の整備はできないと認識しています。

しかしながら、平成30年7月豪雨では河川際の樹木が倒木、流出し、民有地に流れ込むなどの2次被害が発生し、その対応に苦慮しました。これを教訓に、森林経営管理事業では、河川際の森林について所有者の同意をとれたものは、間伐、搬出を行い、土壌保全を図って保水力を向上させることで、被害を起こさない災害に強い安心な森づくり整備事業を計画しています。

なお、河川等に対し総務省が創設した緊急浚渫推進事業は、堆積土砂

率や人家への危険度に応じ、緊急的に実施した浚渫費用への財政支援策と聞いています。制度の詳細は現在不明ですが、法定外公共物の河川は市全域にありますので、この制度に適用できるかなど、検討したいと考えています。

ストリートピアノについて

問

水害からもうすぐ2年が経過するが、復興の象徴として、また、にぎわいを創出するものとして、様々な企画を検討していると思うが、ぜひストリートピアノを検討してほしい。場所の選定や管理などの具体的な取り組みはこれからの課題として、まずはこの案に対してどう思うか。

答

ストリートピアノは、本市においてもピアノによる賑わい創出や使われていないピアノの有効活用の一つとして有益であると考えますが、実施主体、場所、運営管理の方法など課題もありますので、公共施設をはじめ、人が多く集まる商業施設などへの設置を含め、全国の効果的な事例を参考に、検討していきたいと考えています。